

G7 広島サミット関連の陸・海・空のモビリティで ユーグレナ社の次世代バイオ燃料を使用

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲 充）は、2023年5月19日（金）～21日（日）に開催された「G7 広島サミット（主要国首脳会議）」に関連して、防衛省が運航する政府専用機、瀬戸内海汽船株式会社のチャーター高速船「はやしお」、および広島電鉄株式会社のメディア用シャトルバスに当社の次世代バイオ燃料「サステオ」（以下、「サステオ」）が使用されたことをお知らせいたします。



政府専用機にレフューラーから SAF「サステオ」を給油している様子



次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」を給油している様子

左：瀬戸内海汽船株式会社のチャーター高速船「はやしお」

右：広島電鉄株式会社のメディア用シャトルバス

< 「サステオ」が使用された実績 >

■防衛省が運航する政府専用機（ボーイング 777-300ER）

日時：5月18日

給油燃料：「サステオ」 国産 SAF※¹

使用用途：岸田文雄内閣総理大臣の G7 広島サミット出席にあたり運航

経路：東京国際空港～広島空港



■瀬戸内海汽船株式会社のチャーター高速船「はやしお」

日時：5月19日

給油燃料：「サステオ」 次世代バイオディーゼル燃料

使用用途：首脳陣の随行者が宮島へ向かう移動に使用

経路：グランドプリンスホテル広島～宮島



■広島電鉄株式会社メディア用シャトルバス

日時：5月19～21日

給油燃料：「サステオ」 次世代バイオディーゼル燃料

使用用途：G7 広島サミット期間中の記者用シャトルバスに使用


経路：

ルート1：広島駅北口9番乗り場（KOKO HOTEL、女学院前バス停経由）～国際メディアセンター

ルート2：白神社前バス停（新天地バス停経由）～国際メディアセンター



※1 SAFはSustainable Aviation Fuelの略称で、当社は微細藻類や使用済み食用油などの生物系油脂を原料としてBICプロセスにより純バイオジェット燃料を製造し、石油系JET燃料と混合して供給している。なお、供給するSAFはASTM International（旧米国材料試験協会 American Society for Testing and Materials）が定める国際規格であるASTM D7566に準拠しており、従来のジェット燃料と同等の品質であることが規格認証されている。



今回、使用した「サステオ」は、バイオマス（生物資源）を原料とし、石油由来の軽油と分子構造が同じため、内燃機関を変更することなく使用できる次世代バイオ燃料です。この「サステオ」は、燃料を使用する際の燃焼段階では CO₂（二酸化炭素）を排出しますが、原料であるバイオマスが成長過程で光合成する際に CO₂を吸収するため、燃料を使用した際に発生する CO₂の排出量が実質的にはプラスマイナスゼロとなるカーボンニュートラルの実現に貢献すると期待されています。

当社は、持続可能な社会の実現に向けて環境負荷低減に貢献するため、今後も次世代バイオ燃料「サステオ」の普及を目指します。

<株式会社ユーグレナについて>

2005年に世界で初めて微細藻類ユーグレナの食用屋外大量培養技術の確立に成功。微細藻類ユーグレナ、クロレラなどを活用した食品、化粧品等の開発・販売のほか、バイオ燃料の製造開発、遺伝子解析サービスの提供を行っています。また、2014年よりバングラデシュの子どもたちに豊富な栄養素を持つユーグレナクッキーを届ける「ユーグレナ GENKI プログラム」を継続的に実施。「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」をユーグレナ・フィロソフィーと定義し、事業を展開。

<https://euglena.jp>